

第3章 国際ワークショップ“Industrial Estate in Southeast Asia and Regional Social Development”の開催（2009年）

新美達也

1. 国際ワークショップの概要

この国際ワークショップは、2009年6月にハノイのベトナム社会科学院において開催されたものです。また、本ワークショップは、文部科学省による「世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業」の受託研究で、2006年から2010年まで取り組まれた「東南アジアにおける混住社会から共生社会への移行戦略の創出—企業進出下の在地社会変容に関する調査をもとに—」（東海大学・内藤耕）の研究成果の一部です。同プロジェクトのベトナム班は桜井由躬雄先生が指揮し、その研究成果報告会をカウンターパートの世界政治経済研究所（ベトナム社会科学院）との共催で開催しました。

当日ベトナム側はベトナム社会科学院長の Do Hoai Nam 博士から開会の挨拶を頂戴し、世界政治経済研究所所長の Luu Ngoc Trinh 博士の司会によって始まりました。



「社会科学院長 Do Hoai Nam 博士、世界政治経済研究所長 Luu Ngoc Trinh 博士、桜井由躬雄先生らとともに」（澁谷由紀撮影）

以下、本ワークショップでの報告を踏まえてベトナム語で作成された未発表論文の一部を掲載します。なかでも、Quy 論文は、現役合作社主任による、ベトナム社会科学院での国際ワークショップでの報告をベースに作成されたもので、その内容も然る事ながら、30年の合作社における実務経験から考察された秀逸な論文となっています。

なお、桜井論文および Quy 論文の要旨、本文の一部が未完成であったため、編者の責において編集しています。また、論文を掲載できなかった報告の一部（内藤報告および新美報告）要旨（ベトナム語）も再掲します。いずれも、当時の所属・肩書きとなっています。